

ダイヤ改正後の車掌のドア扱い 不安！説明は、訓練で1回だけ

12日から始まる直前の訓練で実践訓練なし！

**この会社の安全最優先はどこにあるのか？
その先の責任は社員に押し付けるのか？**

12日からのダイヤ改正後の車掌のドア扱い変更の取扱いに不安な方がいると思います。1度の訓練の説明だけで、実践的訓練もなしに不安の中で実施するのです。異常ですね！不安です！今までの訓練もそうですが、規律規範等に時間を裂き、肝心な業務の取扱に対しては大変短く、もう直ぐ始まるダイヤ改正の実践的訓練を行わないし、質問する時間もない状態の訓練で乗務員に理解されますか。個人的にはそれぞれ差がありますが、理解されない不安のままで見切り発車するのです。

いまの訓練は、乗車券類等の変更や取扱に対しても同様に、理解することも難しいまま業務についているのではないのでしょうか。

**訓練は具体的で実践的な訓練でなければならない！
不安のままの状態に乗務させてはならない！**

訓練は、説明すればよいということではありません。その業務に関わることを実践において、乗務員に理解してもらうためではないのでしょうか？しかし、いまの訓練は説明しただけの訓練になっていませんか、その後の責任はあなたですという訓練ではありませんか。それで訓練をしたかのようにないのでしょうか。

管理者の皆さんも大変ですが、安全最優先の会社としては問題ではありませんか。乗務員が理解し実践的な訓練でなければ意味がありません。

訓練時に理解するための質問が重要である！

訓練時に質問の時間がないためなのか、質問はあとで指導科・営業科に来てくださいと言いますが、その場の訓練時に一人の質問に対して、他の人も確認ができることやあらかじめ質問することによって、不安を解消することができるかと思えます。

管理者もわからなくて答えられないこともあると思います。その場で答えられなくても、不安な箇所や理解できないことがわかれば、管理者の皆さんはそこからあらたに、準備ができるではありませんか。何よりも理解できていない、不安のまま乗務に就く事が危険であり事故に繋がるのです。

訓練は、規律規範も重要ですが、実際の業務をできるようにする事を最優先すべきです。